

2022 年度

明星大学大学院教育学研究科教育学専攻(通信教育課程)

博士前期課程第 1 期入学試験

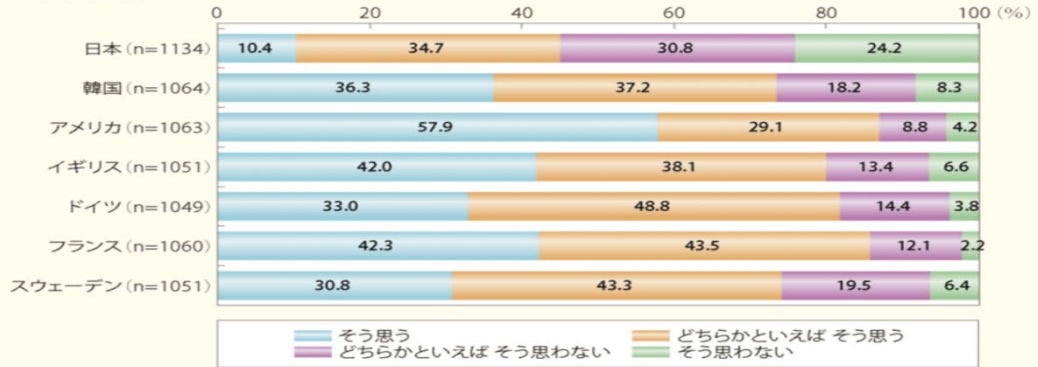
「小論文」

共通問題（教育学全般）

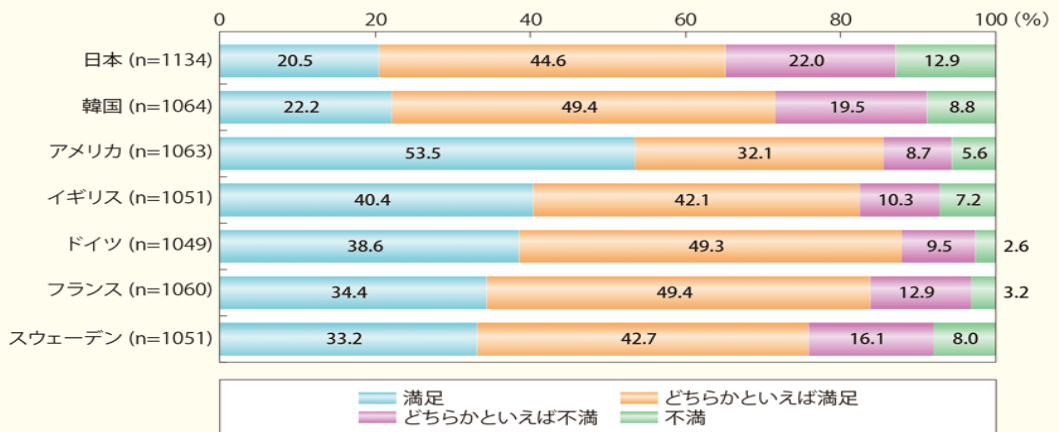
次ページの図表は「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（内閣府,2018）」の結果の一部である。(1) 図表から読み取れる内容を説明し、(2) それに基づく日本の教育的課題及び改善案に関し、得意とする観点（教育史・教育制度・社会学・心理学等）から、思うところを論ぜよ。

図表3 自分自身に満足している

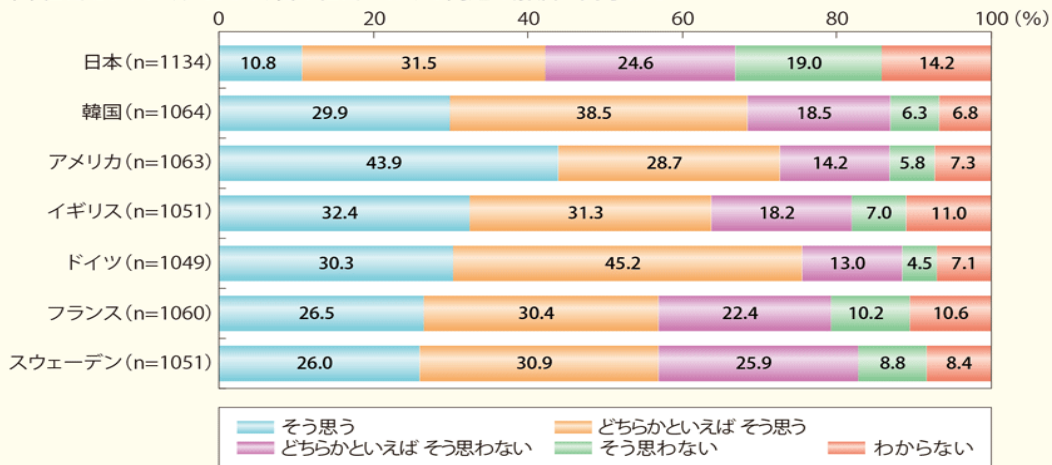
(a) 諸外国比較



図表29 学校生活の満足度



(b) 社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい



選択問題

問題A～Kのうち1問を選択し、答えなさい。

【問題 A（歴史・理論）】

我が国の学校教育の歴史の中で、今日に大きな影響を及ぼした人物を一名挙げ、その業績、思想、教育観などを説明した上で、あなたの考えを論じなさい。

【問題 B（実践・評価）】

平成29・30年の学習指導要領改訂における基本的な考え方について、キーワードを三つ挙げて論じなさい。

【問題 C（情報教育）】

学習指導要領において、教科横断的な視点から教育改善をすることが示されています。「教科横断的な学び」と「情報活用能力の3観点」の親和性を説明しなさい。

【問題 D（教育社会学）】

教育政策における「意図せざる結果」について、具体例を挙げて社会学的に論じなさい。

【問題 E（教育心理学）】

子どもの思考の発達段階に基づいた学習指導の方法について、心理学的観点から論述しなさい。

【問題 F（教育行財政）】

令和3年8月、中央教育審議会特別部会から「教員免許更新制の発展的解消」が提言されましたが、現行の教員免許更新制および免許状更新講習の意義と課題・問題点を取りまとめるとともに、教員免許更新制の廃止後の教員研修はどうあるべきか、あなたの所見を述べなさい。

【問題 G（保育）】

乳児保育における物的空間的環境はどうあるべきか。また、保育者はどのように環境構成を行うべきかについて論じなさい。

【問題 H（児童家庭福祉）】

子どもの養育および学校教育・幼児教育・保育の場において、体罰等の禁止が法に規定されているその一方、日本では部活動における体罰や暴言を肯定する指導論や、叩いてでも善悪を分からせるべきとする躰（しつけ）論が根強いと言われている。こうした指導論や躰論が根強い理由について挙げるとともに、体罰等を用いた指導や躰が、なぜいけないのか論述しなさい。

【問題 I（音楽教育）】

わらべうたには、「遊戯歌」や「子守歌」「祭事歌」などがあるが、「遊戯歌」を中心としたわらべうたは、「ことば」「うた・リズム」「動き・身振り」が一体となって乳幼児に働きかける遊び文化であると考えられる。

それでは、このような「遊戯歌」を中心としたわらべうたが、乳幼児にもたらすものは何だろうか。わらべうたの実践事例を2, 3挙げながら、わらべうたの発達の・教育的意義について論じなさい。

【問題 J（児童文化）】

国語教育における文学作品の役割について具体的に説明しなさい。

【問題 K（小児保健）】

合理的配慮を必要とする子どもに対し、周囲の子どもが「ずるい」と訴えることがある。あなたはどのように周囲の子どもに説明するか。例を挙げて説明しなさい。

2022 年度

明星大学大学院教育学研究科教育学専攻(通信教育課程)

博士後期課程入学試験問題

「小論文」

問題 1～12 のうち 2 問を選択し、答えなさい。

【問題 1 (歴史・理論)】

あなたの研究テーマに関する歴史的背景を説明しなさい。その際に、研究主題に関連する史料（一次資料）を一つ以上挙げて、史料の価値や信頼性に関する言及を必ず加えること。

【問題 2 (実践・評価)】

カリキュラム・マネジメントについてその定義と重要性を明確にした上で、カリキュラム・マネジメントをめぐる研究、教育行政、学校現場の状況と課題について考察しなさい。

【問題 3 (情報教育)】

探究的な学びにおける情報活用能力の必要性を述べるとともに、それらを社会構成主義の観点から考察し、説明しなさい。

【問題 4 (教育社会学)】

教育社会学の研究知見を、教育実践または教育政策にどのように生かせるか。教育社会学の理論および関連する先行研究の内容を具体的に挙げ、その意義と課題を論じなさい。

【問題 5 (教育心理学)】

「教授と学習」に関する心理学理論を1つ取り上げ、その理論において想定されている学習のメカニズム、および、教授者の学習指導・支援のあり方について論述しなさい。

【問題 6（教育行財政）】

児童虐待の防止は、学校や教職員などを含め児童福祉に職務上関係のある者等にとって、喫緊の課題となっているが、児童虐待防止法に基づき学校と教職員に課されている責務の具体的内容を示しながら、学校と教職員は児童虐待防止にどのように取り組むべきか、あなたの所見を述べなさい。

【問題 7（保育）】

保育と「持続可能性」とはどのように関連しているのか、保育における「持続可能性」はどうあるべきかについて論じなさい。

【問題 8（音楽教育）】

幼稚園教育要領では、幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」のひとつとして、協同性「友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、充実感をもってやり遂げるようになる」ことを重視している。そして、この協同性を育むためには、合唱や合奏などのアンサンブルが有効だ、という捉え方がある。この捉え方についてあなたの考えを述べなさい。

【問題 9（児童家庭福祉）】

「親の教育する権利」は、憲法 26 条第 1 項に保障される子どもの権利（子どもが自律的に権利を行使できない段階にある場合において、子どもの「教育を受ける権利」が、親に後見的行使される）として保護されると解釈される。その一方で、父母が離婚した場合や婚姻関係にない場合、現行民法においては、父母のどちらか一方に、子どもの「教育を受ける権利」が設定される単独親権となっている。ただし、国際的に見た場合、共同親権が主流となっており、子の利益のためには、共同親権が望ましいとする指摘もある。単独親権および共同親権それぞれが主張される理由を挙げるとともに、望ましい親権の在り方について、子どもの福祉の観点から、論じなさい。

【問題 10（児童文化）】

国語は学校教育において中心に位置するものだという考え方があるが、それはどのようなことか。また、それについての自分の考えを具体的に説明しなさい。

【問題 11（障害児者自立支援）】

障害児者の生涯発達支援を考える際に、(1) 幼・小・中・高・卒業以降といった各段階を結ぶ移行支援、(2) 適切なアセスメント、(3) 能力（スキル）向上と周囲からの支援利用のバランス、(4) ワークキャリアとライフキャリアのバランス等が重要な課題となる。

博士課程で取り組むテーマが、上記の(1)～(4)のどれに該当或いは近似するかを述べ（該当しない場合は自身であげること）、今後、どのように研究を進めていくのかに関しても述べよ。

【問題 12（小児保健）】

通常学級の教員と特別支援学級の教員の職員室が分かれており、教員同士の対話がない学校があるとする。あなたはこれをどのように考えるか。思うところを論じなさい。

2022 年度
明星大学大学院教育学研究科教育学専攻(通信教育課程)
博士後期課程入学試験問題
「外国語(英語)」

以下の文章はコメニウス著、『大教授学』の冒頭、「読者への挨拶」の一部です。問題1～4に答えなさい。

- 問題1. 下線部 ㉑ の部分を日本語に訳しなさい。
問題2. 下線部 ㉒ の部分を日本語に訳しなさい。
問題3. 下線部 ㉓ の部分を日本語に訳しなさい。
問題4. 下線部 ㉔ の部分を日本語に訳しなさい。

問題文の公開はしていません。

John Amos Comenius, *The Great Didactic*, Translated by M. W. Keatinge, Adam and Charles Black, London, 1907, pp.5-6